

目黒区地域福祉審議会会議録

名 称	令和4年度第1回目黒区地域福祉審議会
日 時	令和4年7月29日（金）午後6時～7時半
会 場	総合庁舎本館地下1階18・19会議室
出席委員	石渡会長、北本副会長、平岡委員、中島委員、西村委員、岩崎（ふ）委員、香取委員、松原委員、徳永委員、長崎委員、脇山委員、吉田委員、寺田委員、今井委員、松崎委員、島崎委員、内川委員、王委員、岡村委員、我妻委員、稻生委員、内海委員、高井委員、南部委員
欠席委員	岩崎（香）専門委員
区側職員	竹内健康福祉部長、田中子育て支援部長、田邊健康福祉計画課長、堀内健康推進課長、松下生活衛生課長、橘保健予防課長、滝川感染症対策課長、齋藤新型コロナ予防接種課長（碑文谷保健センター長）、保坂福祉総合課長、相藤介護保険課長、田中障害施策推進課長、岩谷障害者支援課長、中野生活福祉課長、大塚子育て支援課長 松尾子ども家庭センター所長（児童相談所設置調整課長）、今村保育課長
傍聴者	なし
配布資料	資料1 目黒区地域福祉審議会委員名簿・区側出席者名簿 資料2 目黒区地域福祉審議会条例、目黒区地域福祉審議会条例施行規則 資料3 審議会の公開等の取り扱いについて（案） 資料4 諒問文（写） 資料5 「目黒区保健医療福祉計画」、「介護保険事業計画」及び「障害者計画」の改定について 資料6 審議会の進め方等について（案） 資料7 目黒区保健医療福祉計画令和3年度実績、計画目標に対する評価報告 資料8 目黒区介護保険の利用状況（計画と実績） 資料9 目黒区障害者計画令和3年度実績、計画目標に対する評価報告
会議次第 及び 主な発言	1 開会 委員の24名が出席しており、定足数を満たした。 2 委嘱状の交付 区長から各委員へ委嘱状を交付した。 3 委員の紹介 各委員が自己紹介を行った。 4 区側出席者の紹介 健康福祉計画課長が区側出席者を紹介した。 5 会長の互選 互選により石渡和実委員を会長に決定した。 会長 目黒区には長く関わらせていただいている。地域福祉という縦割りを超えた支援のあり方を早くから進めていたと思う。区長のバックアップにも感謝している。皆さんよろしくお願ひ申し上げる。

6 副会長の互選

互選により北本佳子委員を副会長に決定した。

副会長 前回の地域福祉の計画の時には、コロナ前であった。今度はコロナを想定した計画を立てなければならないと思っている。ぜひ皆様方のお力を借りて、共に進めて参りたい。よろしくお願ひ申し上げる。

7 審議会の公開等の取り扱いについて

健康福祉計画課長 (資料3により説明)

会長 資料のとおり決定する。

8 質問

区長が質問文（資料4）を読み上げ、会長へ手渡した。

9 区長挨拶 快く委員にご就任をいただき、心から御礼を申し上げる。区民の目線、また今まで培ってこられたそれぞれのキャリアを踏まえて積極的なご発言をよろしくお願ひ申し上げたい。

前回から3年の月日が流れており、この間目黒区の大きな動きとしては、昨年3月に、基本構想を20年ぶりに改定した。この基本構想を実現するために、さらに10年間の目黒区の方向性を示す基本計画を今年の4月からスタートをしたところである。この基本計画の中に、保健医療福祉計画等々の、目黒区の大きな考え方を示しているので、参考にご審議をいただければ幸いである。

今回は新型コロナウイルス感染症を踏まえた改定ということになる。そういう点ではコロナの状況が極めて重要な課題である。対応の一つの切り札が、ワクチン接種となる。3回目の接種までについては、23区でも非常に速いスピードで実施した。順調に進んだのは、医師会、薬剤師会等の会員の皆さんをはじめ多くの方々のご協力の結果だと思う。

6月1日の区報でお示ししているが、4回目の接種を5月25日からスタートしている。7月12日の厚生労働省のデータによると目黒区は23区で、現在トップの接種率になっている。併せて新聞報道もされているが、医療従事者、障害者施設や高齢者施設にお勤めの方々の接種も始まっているところである。また、高齢者、障害者の施設入居者等についても、施設の職員の方と協議をし、巡回の接種も3回行い、4回目もしっかりと行なっていきたい。区長としては、接種をしっかりと進めながら、28万区民の皆さんの健康、生命をしっかりと守ることに、ベストを尽くしていきたいと思っているので、どうぞよろしくお願ひ申し上げたい。

区民の皆様、当審議会の委員の皆様、そして私ども行政とのコンビネーションが極めて大切である。どうぞ委員各位には一段のお力添えを心から、お願ひ申し上げる。

10 保健医療福祉計画、介護保険事業計画及び障害者計画の改定について

会長 3計画の改定について事務局から説明する。

健康福祉計画課長 (資料5により説明)

会長 意見・質問等はあるか。

委員 1点目は、今、配偶者の暴力を含めたDVなどの、困難な問題を抱える女性の自立支援法の検討が進められ、様々な女性の自立ということを、改めて再検討していくという方向性があると思うが、3年後の計画ということを考えると、目黒区としては、先進地域として、こういった法の成立を視野に入れた検討が必要で

はないか。

2点目は、10代の自殺、女性の自殺がコロナ禍で増えてきている。そういう中で自殺対策計画との関係をどのように、この保健医療福祉計画の中で位置づけるか。

3点目は、再犯防止計画、つまり軽犯罪等で、地域の中で課題を抱える高齢の方、障害者の方が増えてきている。目黒区はまだまだ少ないかもしれないが、こういったものを、この計画とどういう関係性で整理をされるのか。

健康福祉計画課長 まず第1点目について、私どももこの法律が非常に重要なと考えている。当然、視野に入れた計画としていきたい。

2点目について、自殺対策については、所管は健康推進部であるが、自殺対策についても、この計画に載せていくというふうに考えている。

3点目については、これは前から再犯防止計画が、非常に重要なという話をいただいているが、本区においては、危機管理の部分が第一義的には関わってはいる。ただ、私ども、例えば健康福祉計画課では、保護司の担当もしている。報道等では、刑務所に戻りたいということで、犯罪をまた起こされる方も多いいると聞く。そして、高齢の方が入っている中で、介護が必要な状況になっている等の現状も認識している。そういう状況、貧困や孤立が原因ともなっているので、そこも踏まえた上での計画としていきたいと考えている。

11 審議会の進め方等について

会長 事務局から説明する。

健康福祉計画課長 (資料6により説明)

会長 意見・質問等はあるか。

委員 地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進の項目で、介護福祉人材の確保が喫緊の課題となっている。事業を運営している立場から考えると、働く方が非常に少なく困っている。普通の施策では人の採用が難しくなってきており。また、ずっと仕事を続けてもらうのが非常に難しい。特に目黒は報酬が高めの港区や、人口の多い世田谷区に隣接しており、そのはざまみたいな感じもあって、採用や人材確保が非常に難しいと思うので、目黒らしい確保策というものが計画に入るといい。時間があれば検討いただければと思う。

健康福祉計画課長 これまで私どもも人材確保の重要性を痛感している。明日は、高齢者、障害者の施設の人材採用相談会が行われる。これは、年に2回、介護事業者連絡会、障害者の事業者の皆様とともにに行っているところであるが、これ以外にも色々な工夫をして、目黒らしい人材確保策を、保健医療福祉計画、障害者計画、介護保険事業計画の中で作っていけたらと考える。

委員 自分の立場からすると生涯現役社会を、もっと推進していかなければいけないと思う。高齢者の友達もほとんど仕事をしないでずっと毎日家にいる。これからは自分も含めて生涯現役社会を、どんどん進めていかないと、追いつかないと思う。

もう一つ家族の関係では、ひとり親家庭で働きながら高齢の親や障害のある家族の介護をしているなど、いろいろなことが一つの家族で起きている場合がある。そういうことを踏まえて、障害者は障害者施策、高齢者は高齢施策と分けるのではなく、何か相乗的な効果が出るようなこと、包括的な施策というのを考えられたらと思う。地域包括支援センターができたのもそういうことがあったと思う。

会長 目黒はいろいろな複合的な課題を受け止め、地域でどのように支えるかという視点は、すごく大事にしている。ぜひまた皆さんいろいろお力をいただきたいと思う。

副会長 短期的な視点と長期的な視点2点申し上げたい。短期的な視点は、いろ

いろいろな事情で物価高が見え、これは生活をしている方々と、社会福祉事業の経営者の皆様に影響があるのではないかと思う。地域福祉審議会でダイレクトに取り上げるものではないとは思うが、生活の質を確保するという意味では、それも視野に入れておくことが必要ではないか。

もう一つは、東京都内はこれからで長期的な展望だが、人口減少社会に入っている。今までのように入りが増えるのではなく減ることになるので、サービスを増やすことだけではなく、適正なサービスということを、長期的な視野で考えていく必要があると思う。そういった意味では、この物価高も人口減少社会も併せて、持続可能性ということがキーワードになると思うので、地域をどう持続可能なものにするか、あるいはサービス提供事業者の皆様の事業をどう持続可能にするかという視点から、考える必要性があると思う。

委員 先ほど話が出たが、やはり高齢者の対策はとても重要だと思う。目黒区はご存知のように特養が増え、高齢者にとって、すごく恵まれた環境になりつつあると思うが、やはり介護人材の不足は深刻だと思う。現場でも例えば、海外の人材を積極的に取り入れて、介護とか看護とかのスタッフをそろえたりしているのは、とてもいい方法だと思うが、海外の方の採用にあたっては、看護師として継続して採用するのが意外と難しく、ルール上の問題がある。例えば、目黒区方式みたいなもので何か工夫ができればと思う。施設が増えて、目黒区は高齢者にとって住みやすい場所になりつつあると思うが、せっかくそういった環境があるのであれば、人材に関しても、目黒バージョンみたいな新しい視野で、少し工夫していただけだと、より活性化するのではないかと思う。

会長 いろいろなご意見、限られた時間でいただいたので、ぜひ今後に生かしていきたいというふうに思う。それでは次に議事を進める。

12 目黒区保健医療福祉計画令和3年度の実績、計画目標に対する評価報告について

13 目黒区介護保険の利用状況（計画と実績）について

14 目黒区障害者計画令和3年度の実績、計画目標に対する評価報告について

会長 事務局から3件続けて報告する。

健康福祉計画課長 (資料7により説明)

介護保険課長 (資料8により説明)

障害施策推進課長 (資料9により説明)

会長 目黒区保健医療福祉計画令和3年度の実績、計画目標に対する評価報告ほか2件については、これで終わる。意見がある場合は、意見募集用紙により提出してほしい。

15 その他

会長 次回の開催日について事務局から説明する。

健康福祉計画課長 次回の開催は、8月23日(火)午後6時30分からとする。

16 閉会